



駒本の力

駒本小学校（家）

教育活動紹介便り

NO. 23

平成28年4月6日

本年度も「駒本の力」よろしくお願いいたします

校長 田中 克昌

本校の教育活動に対しまして、日頃よりご理解、ご支援いただいておりますこと、心より感謝申し上げます。本年度も駒本小の教育活動について、さらにご理解を深めていただくために、この「駒本の力」という通信を発行してまいります。「愛と熱と力の駒本」を理念とし、「どの子ども伸ばす、駒本の教育」を実現していくために、駒本小学校の「愛と熱と力」の学校だよりでは書ききれない教育活動について、お知らせしていきます。「駒本の力」の力は、駒本小の子どもたちの「力」であり、駒本小の教育活動の「力」を表しています。どうぞよろしくお願いいたします。

学校経営方針

どの子ども伸ばす、駒本の教育 インクルーシブ教育システムの構築

授業力の向上

授業のユニバーサルデザイン化、個別の支援

指導力の向上

自己も他者も大切にできる心と実践力の指導

組織力の向上

学び、成長し、計画実行し、行動する組織

愛 熱 力

左に学校経営方針を一枚の図にしたものを載せました。これは、教職員に示したものです。私たち駒本小の教職員は、「愛と熱と力」を教育活動全ての基盤としながら、授業力の向上、指導力の向上、組織力の向上という3つの向上に取り組み、「どの子ども伸ばす、駒本の教育」及び、インクルーシブ教育システムの構築を目指していきます、ということを示しています。

示しています。

授業力の向上では、全教員が全授業において、授業のユニバーサルデザイン化に取り組み、個々の子どもたちの課題に応じた支援ができるような授業力を高めていきます。指導力の向上では、子どもたち一人一人を大切にしながら、子どもたちが自己も他者も大切にできる心と実践力を身に付けることができるよう、その指導力を高めていきます。さらに、組織力の向上では、学校内のそれぞれの組織が、「学び、成長し、計画実行し、行動することができる組織」として高めていきます。保護者の皆様、地域の皆様には、今後ともご支援いただけますよう、お願い申し上げます。

さあ始めよう、居ずまいを正した挨拶



本校では、教育目標の「元気な子」を育成する柱の一つとして、礼儀正しい子の育成に取り組んでいます。その中でも特に力を入れているのが、朝の校門での居ずまいを正した挨拶です。朝一番にしっかりとした挨拶ができることによって、家から学校への心のスイッチを切り替え、学習への意欲を高める大切な取組です。昨年同様に7時45分～8時20分までの間、校長が校門前に立ちますので、どうぞよろしくお願いいたします。本校が取り組んでいる挨拶について紹介します。

1. 朝のあいさつ【居ずまい正した挨拶】

- ① 校帽を脱ぐ（これは、駒本小オリジナルでとてもすてきな習慣です。）
- ② 気を付けをして、相手の顔を見る。（これがとても大切です。）
- ③ しっかりとした声で「おはよう(礼)ございます」。
- ④ 子どもたちが「おはよう」と言ったあたりで、こちらも「おはようございます」を開始して、両者の「礼」がそろいます。

挨拶は人と人との全ての基本です。小学校は生涯にわたって必要な「力」の基礎を培う大切な場です。社会に出て困らないように、そして、立派な社会人になってもらいたくて、この居ずまいを正した挨拶の指導をしています。

この挨拶の仕方を昨年度重点的に取り組んできました。その結果、90%以上の子どもたちが身に付けてくれました。それでも、まだ声が小さかったり、ちょっと省略形だったり、課題は残っています。今年は100%の子どもたちが居ずまいを正した元気な挨拶ができるよう指導していきます。ご家庭や地域でも、すてきな挨拶ができるよう、ご指導いただけますようお願いいたします。

2. 校舎内での挨拶

校舎内では、立ち止まって、居ずまいを正しての挨拶は難しいかと思えます。ですから、教職員や来校者に対して、しっかりと「こんにちは」と言えるよう指導しています。これも多くの子どもたちが「こんにちは」と挨拶できるようになってきています。

このように駒本小学校では教育目標の「元気な子」の具体的な姿として、挨拶の指導に力を入れています。「居ずまいを正した挨拶で、心のスイッチを入れよう」と全校朝会でも話をしていきます。「駒本の力」はまずは子どもたちの素敵な挨拶からです。